

平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月3日
上場取引所 東

上場会社名 日精エー・エス・ビー機械株式会社
コード番号 6284 URL <http://www.nisseiasb.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 C00 (氏名) 宮坂 純一
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 大井 昌彦 TEL 0267-23-1560
四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	20,430	6.9	3,881	8.5	4,006	△6.5	3,521	26.4
29年9月期第3四半期	19,108	△0.6	3,578	5.7	4,284	38.7	2,785	54.5

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 1,906百万円 (△57.4%) 29年9月期第3四半期 4,469百万円 (ー%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	234.49	ー
29年9月期第3四半期	185.47	ー

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
30年9月期第3四半期	45,169		26,418		58.5
29年9月期	42,066		25,413		60.4

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 26,416百万円 29年9月期 25,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	ー	0.00	ー	60.00	60.00
30年9月期	ー	0.00	ー	ー	ー
30年9月期(予想)	ー	ー	ー	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	△4.4	5,600	△8.3	5,800	△16.6	4,700	2.8	312.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年9月期3Q	15,348,720株	29年9月期	15,348,720株
30年9月期3Q	331,854株	29年9月期	331,764株
30年9月期3Q	15,016,891株	29年9月期3Q	15,016,980株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本書に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	9
受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年10月1日～平成30年6月30日、以下、当第3四半期又は当期間)におきましては、各主要市場では当社主力機である中小型機の販売環境が概ね順調に推移するなど、当社の経営環境は底堅さを維持しました。その結果、当期間の売上高は、20,430百万円(前年同期比106.9%)と過去最高を達成し、利益面でも後記のとおり、売上総利益、営業利益及び最終利益が過去最高を更新しました。

具体的な施策として、販売面では、世界各地で開催された主要展示会に積極参加し、顧客需要を喚起しました。技術面では、市場ニーズに即応する新製品の開発や顧客への提案を積極的に展開するなど、販売拡大に向けた施策を実施しました。生産面では、原価低減の継続的な取組みに注力するとともに、国内新工場の建設とインド第3工場の稼働に向けた準備に尽力するなど、生産体制の拡充を図る取組みに注力しました。

一方で、受注環境につきましては、一部の市場では顧客からの受注獲得に時間を要するなど、やや力強さを欠く販売環境になりました。その結果、当期間の受注高は、前年同期に伸長した大型機などの受注が減少したことにより、21,988百万円(同86.7%)に留まりました。なお、当期間末現在の受注残高については、10,618百万円(前年同期末比76.3%)となっております。

製品別売上高状況

(単位:百万円)

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
当第3四半期	10,906	5,843	1,278	2,401	20,430
前第3四半期	10,946	5,017	1,032	2,111	19,108
前年同期比	99.6%	116.5%	123.9%	113.7%	106.9%

製品別の売上高状況につきましては、ストレッチブロー成形機が10,906百万円(前年同期比99.6%)、金型が5,843百万円(同116.5%)、付属機器が1,278百万円(同123.9%)、部品その他が2,401百万円(同113.7%)となりました。機種別では、小型機ASB-12M型や主力中型機のASB-70Dシリーズが販売を伸ばしました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

セグメント(地域)別売上高状況

(単位:百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	合計
当第3四半期	5,898	4,827	6,820	1,133	1,749	20,430
前第3四半期	5,644	3,487	6,498	1,617	1,859	19,108
前年同期比	104.5%	138.4%	104.9%	70.1%	94.1%	106.9%

① 米州

北米市場では減収になったものの、中南米市場では販売策の強化などにより大幅増収となり、地域全体の売上高は5,898百万円(前年同期比104.5%)と増収となりました。セグメント利益は販売費の増加などにより、1,563百万円(同88.7%)となりました。

② 欧州

各市場で概ね堅調に推移したことにより、地域全体の売上高は4,827百万円(前年同期比138.4%)と大幅増収となりました。セグメント利益は、増収効果などもあり、1,832百万円(同180.3%)と大幅増益となりました。

③ 南・西アジア

インド市場やドバイ・シンガポールの各販売法人で増収になったことにより、地域全体の売上高は6,820百万円(前年同期比104.9%)、セグメント利益は1,399百万円(同109.5%)となりました。

④ 東アジア

主要市場の中国や台湾などの市場で減収になったことにより、地域全体の売上高は1,133百万円(前年同期比70.1%)と減収となりました。セグメント利益も減収の影響により、312百万円(同75.1%)と減益となりました。

⑤ 日本

当社顧客の需要がやや低調であったものの、販売活動の強化などにより、売上高は1,749百万円（前年同期比94.1%）と前年同期並みを維持しました。セグメント利益は、販売機種の収益性の改善などにより、554百万円（同122.4%）と増益となりました。

利益面では、増収の影響に加え、原価低減の継続的な取組みなどもあり、売上総利益は9,724百万円（前年同期比114.5%）、営業利益は3,881百万円（同108.5%）とそれぞれ増益を確保しました。

営業外損益では、前年同期に計上した為替差益439百万円が、当期間は為替差損142百万円に転じたことにより、経常利益は4,006百万円（同93.5%）に留まりました。一方、最終損益である親会社株主に帰属する四半期純利益は、多額の投資有価証券売却益の計上により、3,521百万円（同126.4%）と増益になりました。

なお、売上高、売上総利益、営業利益及び最終利益は、これまでに開示している第3四半期の連結決算で過去最高を記録することができました。

当第3四半期連結累計期間における損益の状況は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第3四半期	20,430	9,724	3,881	4,006	3,521
前第3四半期	19,108	8,495	3,578	4,284	2,785
前年同期比	106.9%	114.5%	108.5%	93.5%	126.4%

(2) 財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

（単位：百万円）

	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産
当第3四半期	31,923	13,245	12,325	6,425	26,418
前連結会計年度	30,319	11,747	10,839	5,812	25,413

当第3四半期連結会計期間末（以下、当期間末）の流動資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少した一方で、たな卸資産の大幅な増加により前連結会計年度末（以下、前期末）と比べ1,604百万円増加し、31,923百万円となりました。また、固定資産は、インド及び国内新工場への設備投資により、前期末と比べ1,498百万円増加し、13,245百万円となりました。この結果、当期間末の資産合計は、前期末と比べ3,103百万円増加し、45,169百万円となりました。

流動負債は、1年以内に返済予定の長期借入金の増加などにより、前期末と比べ1,486百万円増加し、12,325百万円となりました。固定負債は、国内新工場に対する借入金の増加などにより、前期末と比べ612百万円増加し、6,425百万円となりました。

純資産は、配当金の支払いなどの減少要因があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により前期末と比べ1,004百万円増加し、26,418百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期（平成29年10月1日～平成30年9月30日）の連結業績予想につきましては、当第3四半期の経営成績等を踏まえ、平成30年5月9日付「平成30年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載いたしました通期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（平成30年8月3日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,925	8,730
受取手形及び売掛金	6,680	5,527
商品及び製品	2,120	2,400
仕掛品	4,898	6,908
原材料及び貯蔵品	4,093	5,361
繰延税金資産	1,312	1,524
その他	1,358	1,626
貸倒引当金	△70	△156
流動資産合計	30,319	31,923
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,742	1,617
機械装置及び運搬具(純額)	2,163	1,874
土地	1,165	1,165
建設仮勘定	1,890	4,835
その他(純額)	263	264
有形固定資産合計	7,223	9,757
無形固定資産	121	120
投資その他の資産		
投資有価証券	1,679	212
その他	2,862	3,283
貸倒引当金	△139	△127
投資その他の資産合計	4,402	3,368
固定資産合計	11,747	13,245
資産合計	42,066	45,169

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,230	4,211
短期借入金	1,353	2,639
未払法人税等	1,275	547
前受金	2,399	2,742
賞与引当金	200	350
役員賞与引当金	15	18
その他	1,365	1,816
流動負債合計	10,839	12,325
固定負債		
長期借入金	3,453	4,098
役員退職慰労引当金	313	352
退職給付に係る負債	571	554
その他	1,473	1,419
固定負債合計	5,812	6,425
負債合計	16,652	18,751
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860	3,860
資本剰余金	3,196	3,196
利益剰余金	18,645	21,265
自己株式	△201	△202
株主資本合計	25,500	28,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	855	47
為替換算調整勘定	△942	△1,751
その他の包括利益累計額合計	△87	△1,703
非支配株主持分	0	1
純資産合計	25,413	26,418
負債純資産合計	42,066	45,169

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)
売上高	19,108	20,430
売上原価	10,612	10,705
売上総利益	8,495	9,724
販売費及び一般管理費	4,917	5,842
営業利益	3,578	3,881
営業外収益		
受取利息	95	110
受取配当金	23	18
為替差益	439	—
受取手数料	112	125
その他	53	28
営業外収益合計	723	283
営業外費用		
支払利息	8	8
為替差損	—	142
その他	9	8
営業外費用合計	18	158
経常利益	4,284	4,006
特別利益		
固定資産売却益	4	2
投資有価証券売却益	—	1,189
特別利益合計	4	1,192
特別損失		
固定資産売却損	2	1
関係会社清算損	32	9
特別損失合計	34	10
税金等調整前四半期純利益	4,254	5,188
法人税、住民税及び事業税	1,446	1,668
法人税等調整額	23	△3
法人税等合計	1,470	1,664
四半期純利益	2,784	3,523
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,785	3,521

(四半期連結包括利益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	2,784	3,523
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	310	△807
為替換算調整勘定	1,374	△810
その他の包括利益合計	1,685	△1,617
四半期包括利益	4,469	1,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,470	1,904
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	
売上高						
外部顧客への売上高	5,644	3,487	6,498	1,617	1,859	19,108
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,644	3,487	6,498	1,617	1,859	19,108
セグメント利益	1,762	1,015	1,278	415	452	4,924

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,924
全社費用	△997
たな卸資産の調整額	△117
その他の調整額	△231
四半期連結損益計算書の営業利益	3,578

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	
売上高						
外部顧客への売上高	5,898	4,827	6,820	1,133	1,749	20,430
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,898	4,827	6,820	1,133	1,749	20,430
セグメント利益	1,563	1,832	1,399	312	554	5,661

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,661
全社費用	△1,257
たな卸資産の調整額	△239
その他の調整額	△283
四半期連結損益計算書の営業利益	3,881

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

① 受注状況

製品別	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (%)	受注残高 (%)
ストレッチブロー成形機	15,455	8,904	12,070	6,444	78.1	72.4
金型	6,376	3,985	6,032	3,420	94.6	85.8
付属機器	1,415	926	1,511	694	106.8	75.0
部品その他	2,127	105	2,373	59	111.6	56.4
合計	25,373	13,921	21,988	10,618	86.7	76.3

② 販売実績

製品別	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ストレッチブロー成形機	10,946	57.3	10,906	53.4	99.6
金型	5,017	26.3	5,843	28.6	116.5
付属機器	1,032	5.4	1,278	6.3	123.9
部品その他	2,111	11.0	2,401	11.7	113.7
合計	19,108	100.0	20,430	100.0	106.9